

「第14回 大月みらい協議会(人口問題・地域活性化を考える市民会議)」 会議概要

日 時 平成28年7月21日(木) 午後7時から午後9時

場 所 大月市民会館 4階視聴覚室

出席者 委員12名(7名欠席)

小俣理美、梶原崇照、小鷹侑子、佐藤茂幸、志村淳、中島啓介、仁科美芳、
福嶋尚美、星野喜忠、武者稚枝子、山口明秀、渡辺勝

【事務局】 石井企画財政課長、藤原地域活性化担当リーダー、榎本、堀内

1. 星野議長あいさつ

皆さんこんばんは。連日の暑さで蒸し暑い日が続いておりますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

このところ、世の中ではいろいろなことがたくさん起こっております。一連のテロ事件が頻発していたり、中国の南シナ海での裁判の決着が付いて、中国がこれに反発して揉めたりしております。それから、イギリスのEU離脱ということで、今それに向かってどんどん進んでおり、EUの経済的な枠組みが崩れるかもしれない状況があります。

一方、私たちの周り、特に大月市近辺では、本日の山梨日日新聞に、大月市産の無農薬の玉ねぎを使ってハンバーグを石井食品さんが作って、ここだけではなく、いろいろなところで出していくということで、試食会が行われたという記事がありました。私たちの身の回りに、地域振興や地域活性化など、私たちの会議の目的とするところの様々な活動が、皆さんを中心に盛んに行われていると聞いております。具体的な流れが出てきて、徐々に動きが活発化していくことは良いことだと思います。

この会の大きな目的として、この会は地域の活性化の事業や計画を推進し、あるいは参加をする部分もあろうかと思えます。ただ、その中で、いろいろなプロジェクトを全部見てきたわけではありませんが、プロジェクトがうまくいっているところとうまくいっていないところの差は何かを考えてみたときに、管理が出来ているかどうかであると感じました。会社組織であれば管理は出来るのですが、素人が新たなことを始めますと、そこに熱意や情熱、素晴らしい意気込みはあっても、管理ということは割合存在していません。これは火を見るよりも明らかで、諸先輩方には言うまでもないことでもあります。

今日、私たちの進んでいく方向を決めていきます。この会議では、ある程度まで議論をいたしまして、今後どのような形で展開していくかということも含めて、もう一度皆さんと意見交換をしてみたいと思います。よろしくお願ひします。

2. 議事

(1) 第13回会議概要について

- ・第13回会議概要の市ホームページへの公開について承認された。

(2) 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

先日実施した再意向調査の結果を踏まえ、この会議でどのように進めたらよいかということについて、佐藤副議長から提案があった。

【佐藤副議長】

提案というか、皆さんに再度確認しておきたいことがあります。お手元にある「大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、もう一度あらためて、この大月みらい協議会の中で、情報共有や理解を深めた方がいいと思いました。

これをなぜ行うのかということについては、先日、再意向調査をさせていただきましたが、今後のみらい協議会の活動を考える際に、大月市が総合戦略を作り、我々も中身の施策について提案をさせていただきましたが、意見が盛り込まれているところ、場合によっては盛り込まれていないところがあります。総合戦略は、5年間の計画期間であり、その実行状況とか、あるいは追加で考えなければいけないことなど、市民目線で大月みらい協議会から、再度評価をしたり、提案をしたりすることが今後求められてくるようです。前回、残りの任期でそれをやりましょうという話をさせていただきました。それについては、皆さんいろいろな思いがあろうかと思いますが、なんとなくそれは必要だねという合意形成が出来ているのではないかなと感じました。

そうは言っても、この総合戦略自体、まだまだ理解が少ないように思います。2月に出来たときに、市の方から少し駆け足で、時間が限られている中で説明した部分もありますので、あらためてそのようなことも踏まえて、説明していただき、理解を深めた方がいいと思いました。

そして、理解した上で、この総合戦略を再度半年かけて、我々が評価したり、新たな提案をしていくということになると思います。

- その後、事務局から大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、再度説明を行い、委員の理解を深めた。

(3) 大月みらい協議会の今後の活動について

- ・事務局から、前回の内容を修正して再度提案がありました。

平成28年7月21日 第14回大月みらい協議会

大月みらい協議会に今後取り組んでいただきたいこと

【全体で取り組んでいただきたいこと】

① 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について意見を述べる。

【希望者で取り組んでいただきたいこと】

② 総合戦略に盛り込む具体的な施策を検討し提言する。

※修正箇所

- ・前回提案した3つのプロジェクトについては、大月みらい協議会からは原則切り離すこととします。
- ・みらい協議会の委員の中で、3つのプロジェクトや、別のテーマで分科会等を開催し取り組みたい場合は、市としてはできる限り協力し、必要に応じて議論に参加します。

- 議論の結果、大月みらい協議会としての活動内容は、以下のとおりとなった。

【大月みらい協議会の今後の活動内容】

- ・総合戦略の進捗状況について意見を述べる。
- ・進捗状況について意見を述べる中で、新たな施策を提言したいという機運が高まったときは、希望者を募り、部会等を立ち上げ、提言に向けて議論を行う。

※前回提案のあった3つのプロジェクトについては、大月みらい協議会としては原則切り離すこととする。

3. 今後の日程について

次回会議は、総合戦略の進捗状況の報告を待って開催予定とすることとなった。